

# 令和 2 年 度 事 業 報 告

新潟カリタス会

再び緊急事態宣言が 6 都道府県に拡大され勢いが収まらないなか、新型コロナウイルスのワクチンが少しずつ行き渡り安心感も期待できそうだ。現在高齢者が中心に接種が開始されている。しかし沖縄は今も増え続け、新型コロナウイルスに罹った人の 7%は若年層だから油断ならない。国民の命と健康を守ると言い続けている政府は、東京五輪にも同様に諸外国から来日する人の命も全力で最善の方法で取り組んで頂きたい。

## 1、社会的養育ビジョン

里親制度の包括的業務（フォスタリング業務）も新型コロナウイルスの関係で制限されたものの順調に終えた。しかし人との関わりの中で研修すべきことがリモート対応であったのは残念であった。

## 2、自立支援の充実

様々な事情を抱えた児童が入所するなか、育った環境も様々でその対応も一人一人違う見方接し方をしなければならない。子どもたちの気持ちが互いに絡み合い、一層園生活を複雑にしている。年度なかばに子ども達が荒れることもあった。自立支援は時間をかけゆっくりと成長を支えていきたい。

## 3、児童が権利の主体

コロナ禍の収束が見えず、他者に不寛容な風潮が広がり、人格を傷つける言動もあるが、相手も一人の命をもった人であり、尊重しつつ自分と異なるものへの攻撃が無いよう関わっていきたい。

## 4、新潟カリタス会の組織

今年も喫緊の課題として、次世代の役員、管理職の後継者の人選の対策を検討したが、年齢、適格性、資格、経験等を総合的に考慮すると現時点で適任者がいない。今後も後継者養成又は適任者選定に努力していく。

## 5、人材確保と人材育成

女性の多い職場の中で結婚・自己都合等で退職する職員が毎年数名出る。また、産休・育休後の職場復帰後も変則勤務が出来ず夜勤・宿直業務の形態に影響を及ぼしている。今年度も求人説明会に参加し、採用予定者の確保に PR したが、他の業界に人が集まり児童養護施設は数名であった。今後も人材確保に力を入れるが、近年は新規採用試験の受験者が減少している。優秀な人材を採用し、施設の将来の人材育成につながる人材を養成していきたい。

## 6、社会福祉充実計画

社会福祉充実計画 4 年目の計画であった「カリタス会見附地域支援センター」が完成した。私のイメージはガラス張りの木の温もりを感じる明るい建物だ。今後有効活用が期待される。施設運営に多くの人々が利用されることを望む。